

2018年11月22日

SUBARU「国際航空宇宙展 2018 東京」に出展 ～「受け継がれる、ものづくりの情熱」をコンセプトに展示～

SUBARUは、2018年11月28日(水)～30日(金)の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)において開催される、「国際航空宇宙展2018東京」(主催:一般社団法人日本航空宇宙工業会/株式会社東京ビッグサイト、以下JA2018)に出展します。

JA2018は国内外の航空宇宙産業の関係者が集う展示会で、前回のJA2016以来2年振りの開催となります。

今回SUBARUでは、「受け継がれる、ものづくりの情熱」をコンセプトとし、空と宇宙へのSUBARUブランド拡張を目指し、安心・安全を実現する高度なインテグレーション能力と、次世代へ向けた取組みをゾーン別に展示します。

■主な出展内容

【SUBARU BELL 412EPX/UH-X ゾーン】

2018年7月5日に米国連邦航空局の型式証明を取得した、民間向け最新型ヘリコプター「SUBARU BELL 412EPX」の大型模型(2/5 スケール)、およびそれをベースとした陸上自衛隊向け新多用途ヘリコプター「UH-X」の模型(1/10 スケール)を展示します。

【旅客機ゾーン】

ボーイング社と共同開発した旅客機、ボーイング 787「中央翼」のスケルトン模型(1/10 スケール)を展示します。

【完成機ゾーン】

海上自衛隊向け練習機「T-5」、航空自衛隊向け初等練習機「T-7」、陸上自衛隊向け多用途ヘリコプター「UH-1J」、陸上自衛隊向け戦闘ヘリコプター「AH-64D」など、SUBARUが手掛ける完成機を模型で紹介します。

【無人機・将来技術ゾーン】

「空の移動革命に向けた取組み」として将来モビリティの可能性について映像展示にて紹介します。



SUBARU BELL 412EPX



SUBARUブースデザインイメージ